(一社)岩手県山岳・スポーツクライミング協会
山協ニュース
第 221 号
令和５年２月８日発行
https:// iwatesankyo.or.jp/

IFSC クライミングワールドカップ B&L コンバインドいわて盛岡 2022　開催

〔主催〕国際スポーツクライミング連盟
〔共催〕岩手県、盛岡市、（一社）岩手県山岳協会・スポーツクライミング協会
〔主管〕IFSC クライミングワールドカップ B&L コンバインドいわて盛岡 2022 大会実行委員会

令和4年 10 月 20 日(木)から 22 日(土)、岩手県営運動公園スポーツクライミング競技場において、IFSC クライミングワールドカップ B&L コンバインドいわて盛岡 2022 が開催されました。２年後のパリ五輪を見据えての開催であり、コンバインドのワールドカップは世界初でした。

出場選手は当初、男女それぞれ 80 名ずつの予定でしたが、新型コロナウイルス感染症、入国にかかわる水際対策等々の影響もあり、世界21か国から女子28人、男子 39 人が参加しました。

初日 20 日は男女予選。ボルダー4 課題とリードで丸一日を要しました。二日目 21 日は準決勝。男女それぞれ

20名により争われ、決勝進出者の男子は8名中5名が、女子は8名中4名が日本人という結果となりました。また、この日は夜午後6時10分から男子決勝まで行われ、1～3 位がすべて日本人という結果となり、大いに盛り上がりました。最終日 22 日は、あいにくの雨でしたが女子決勝が行われました。伊藤ふたば選手は決勝まで進みましたが７位でした。

男子複合
1位　楢崎智亜　2位　緒方良行　3位、藤井快
女子複合
1位　森秋彩　2位ナタリア・グロスマン
3位　ソ・チェヒョン

この大会では、岩手県で募集したのべ 159 名のボランティアと、51 名の通訳ボランティアに協力いただき、受付、会場管理、駐車場誘導、通訳業務を行っていただき、また JMSCAの関係者のご協力の他に、県内役員 78 名中 21 名が県山協関係、8 名が他県及び紹介者、クライミングボランティア 49 名の方々に選手管理、競技スタッフ等のご協力をいただきました。

また、会場隣接公園内に「いわて・もりおか食のおもてなしブース」が設置され、協賛金をいただいた三寿司の他、ぴょんぴょん舎　川善　ちゃんこ大五郎　が出店していました。そして、ブース内には、初心者の方もクライミングを楽しめる体験コーナーも設置されていました。

一般社団法人岩手県山岳・スポーツクライミング協会８０周年記念式典を挙行

11月 12 日(土)午前 10 時 30 分から一般社団法人岩手県山岳・スポーツクライミング協会創立80周年記念式典が盛岡市のサンセール盛岡で開催されました。

式典には、平藤淳(公財)岩手県体育協会副会長兼理事長、盛岡市長代理の太田真盛岡市交流推進部長、古賀英年(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会副会長、青森県秋田県福島県の岳連会長をはじめ来賓、表彰受賞者、加盟団体の代表等 87 名の出席を得て、盛大に開催されました。

本来なら昨年の実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため 1 年遅らせての実施となりました。

吉田春彦会長の式辞の後、協会役員として、次の方々が表彰を受けました。髙橋時夫氏、鈴木主計氏、藤原利雄氏、西舘正治氏、佐藤均氏、盛合敏男氏、村上伸男氏、植田瑞穂氏、佐藤誠氏、菊地健一氏、佐藤俊一氏、三浦拓男氏、中村桂悦氏、遠藤正子氏、佐藤由子氏、田老雄一氏、角掛実氏、地域山岳会の功労表彰として、小国朋身氏、畠山弘明氏、田中耕一氏、伊藤義幸氏、藤田正氏、熊谷富士子氏、村上良則氏、五日市亮一氏、星晃氏、諏訪木秀夫氏。

続いて、(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会副会長古賀英年氏、(公財)岩手県体育協会副会長兼理事長平藤淳氏、盛岡市交流推進部長太田真氏からの祝辞、山形県岳連会長からのメッセージと続きました。式典に引き続き祝賀会が開催され、青森県山岳連盟会長服部一雄氏、秋田県山岳・SC 連盟会長齊藤喜代志氏、福島県山岳連盟会長平子吉政氏からお祝いの言葉を頂き、名誉会員の工藤洋司氏の乾杯で祝宴に入りました。

コロナ禍での記念式典祝賀会の開催は、紆余曲折し直前までクラスターの発生等心配しましたが無事盛会裏に終了しました。

＝各種講習会報告＝

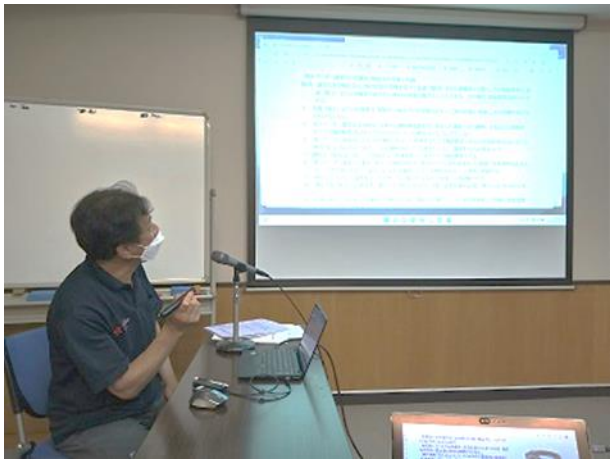
夏山リーダー講師養成講習会
（岩手会場）

1　期　日：令和４年６月 26 日(日)
2　会　場：フラップ岩手（岩手県青少年会館）
3　参加者：受講者 22 名
　講師２名
　蛭田伸一（JMSCA 夏山ﾘｰﾀﾞｰ委員会委員長）
　中島隆之（JMSCA 医科学委員会委員長）
・岩手県 13 名、北海道４名、秋田県２名
　宮城県１名、福島県１名、青森県１名

4　報　告

昨年度、全国の各ブロックにおいて夏山リーダー指導者養成講習会を開催する話を聞き、「ぜひ岩手で！」と手を挙げさせていただき、準備を進めてきた。課題としては人数がどれだけ集まるかでしたが、今回、定員の 20 名を超え 22 名の参加者で開催することができた。

午前中は､「夏山リーダー養成講習会」が出来た経緯、「夏山リーダー養成講習会」を開催するための手続き、「夏山リーダー検定会」の開催の仕方、採点方法等について、JMSCA の担当である蛭田伸一氏から説明を受けた。今回の講習を聞き不明だった部分も明らかになり、開催に向けての意欲も高まってきたように感じた。特に、「ナビゲーション」「セルフレスキュー」については我々指導者がしっかり学び、受講者が受講して良かったと思わせたい部分であると感じた。



午後は中島隆之氏から、セルフレスキューの指導を具体的に指導していただいた。三角巾の使い方、頭部の傷について、手首捻挫・前腕骨折、足首捻挫、下腿骨骨折についての処置について学んだ。9 月実施の岩手会場での指導は中島先生にお願いしているので、受講者にはまたとない機会になると思う。

今回の夏山リーダー講師養成講習会に岩手から 13 名が参加し理解を深めることが出来た。今後９月３日（土）４日（日）、９月 10 日（土）11 日（日）の４日間で「夏山リーダー養成講習会」を岩手県で開催する予定である。今後開催までしっかり準備を進めていきたい。

沢登り講習会兼指導員研修会

1　期　日：令和４年８月７日(日)
2　参加者：23 名
・コーチ９名・会員１４名
A 班は上級【枯松沢】８名、B 班は中級【湯ノ沢】７名、C 班は初級【大鹿沢】８名
3　報　告

7:15 開講式を行い、それぞれの力量、装備のチェックを行い、7:30 に夏油駐車場を出発。A 班（上級者）は枯松沢、B 班（中級者）は湯ノ沢、C 班（初級者）は大鹿沢に向かった。

【A 班報告　寺内】

A 班は駐車場を出発し、枯松沢と夏油川の出合い辺りで雷雨となったので遡行を中止し、夏油川から経塚に向かう林道にエスケープし、10 時頃に夏油駐車場に戻ってきた。しかし、その後天気は回復し、希望者を募り（全員ですが）で湯の沢に向かった。　湯ノ沢では大滝を含め遡行することができた。最後の F も難しい直登にもトライし楽しむことができた。16 時 30 分に夏油駐車場に到着し解散した。

【B 班報告　中島】

朝 7 時 30 分に出発。「洞窟の湯」の手前を右から高巻き入渓。小さな滝を幾つか越えていくと狭い廊下があり、その奥には 10mの滝がある。前日の下見で、この滝の右側のルンゼ状の岩場に高巻き用のロープを固定していたのでこれを利用し一人ずつ登る。登高器を用いたが初めて使用する受講者もいたため、その使い方を確認し慎重に登った。この頃より雷が鳴り、雨が降り始めた。雷鳴は時々であり雨脚は弱いため遡行を継続。

その後の 15mのスラブ状の滝はトップがロープを出し、登高器を用いて登った。これを越え 80mの大滝が現れた頃には雨は止んでいた。前日にロープを中部、下部にそれぞれ 1 本ずつ固定していたのでこれを用いて登る。ここではフリクションノット（マッシャートレッセ）を用いて登った。

滑床を進むと 15mの滝があり、ここはトップの鎌田が左側を高巻くルートにロープを固定した。これを用いて草付きの滑りやすい斜面を登った。

その後は深い釜をもつ５mの滝の時だけロープを出したが皆、慣れてきたこともあり上手に登り、ロープの必要性を感じさせなかった。

夏道に出るまでの遡行時間は約 6 時間 30 分だった。

【C 班報告　渡邊】

今回は入渓直後から雨が降り出し、およそ 2 時間後には雷雨となった。大きめの滝を越えると戻るのが難しくなること、今回が沢初体験の方もいることから危険を避けるため、640m 付近にて安全第一で早めの撤退を決定した。11 時 40 分頃皆無事に夏油駐車場に到着。

今回 C 班には沢・懸垂下降未経験の方がいたが、開始前に健康観察、沢経験の有無、用具のチェックとその使用方法、懸垂下降の経験の有無を確認していたので、撤退を決定した後も、皆協力し合って安全にスムーズに下降してくることが出来た。思わぬ懸垂だったかもしれないが、受講者にはいい経験になったと思う。

↑開講式の様子

←湯ノ沢大滝の登

↓湯ノ沢シャワークライミング

岩登り講習会兼指導員研修会

1　期　日：令和４年８月 28 日(日)

2　参加者：33 名

・コーチ８名、検定１名、会員 18 名、一般６名
4 班編成にし、A、B、C 班が初級者、D 班が中・上級者で研修会を実施。

3　報告

上記の通り、コーチ、検定、会員、一般で 33 名と、多くの参加者があり大変うれしく思っている。

開催要項には、北上市展勝地公園陣ケ岡の岩場で実施と記載していましたが、前日からの雨が昼頃まで続き、岩が濡れて危険であるため、急遽、北上総合体育館の会議室とクライミングボードを借り実施した。参加者の中からは「実際の岩場を登ってみたい。」との声も多くあり、今後も実際の岩場での講習を続けていきたい。

＜机上研修＞

北上市総合体育館会議室では、次の内容の机上研修を行った。

・クライミングで使用する用具について。
・クライミングロープの種類と特性について。
・クライミングハーネスの各部の名称と装着について。
・クライミングハーネスへのロープの結索について。特に、正しいフィギュアエイトフォースルーの仕方について。また、ロープの収納やラビットノットなどロープワークについて。
・クロスチェック（お互いが正しく装着できているかチェック）について。
・支点構築について。

特に、初級者が多かったので、ハーネスを正しく装着し、クロスしないエイトノットで結索する。クロスチェック等、基本的なことを繰り返し指導した。

＜実地研修＞

・バックアップを取った懸垂下降の実施。
・ビレイの仕方について。
・自己脱出について。(D 班)
・その他

＜感想等＞

・スポーツクライミング、アルパインクライミングにおいて、装備を正しく装着していなかったに事故となってしまった例は少なくない。事実、私も、ウエストベルトのタイインループにしかクライミングロープを結索しなかったために、ハーネスが破損した例を見ている。

今回は正しく装備を装着し、クロスチェックは必ず行うこと。ビレーヤーはクライマーの動きに集中し真剣に行うこと。大きな声でしっかり伝え合うこと等を指導した。

支点構築について

今後、実際の岩場において、今回の指導内容をしっかり行い、事故無く、クライミングを楽しんでほしい

フィギュアエイト フォロースルーは丁寧に

バックアップで懸垂下降を

皆さん、お疲れ様でした。

夏山リーダー講習会

１　期　日：令和４年９月３・４日　10・11 日
２　会　場：岩手山青少年交流の家
　　滝沢市平蔵沢の石ケ森
３　報告

令和４年度夏山リーダー養成講習は、９月３、４日に岩手山青少年交流の家、10、11 日に滝沢市平蔵沢の石ケ森で行われた。

この講習は、増加する山岳遭難事故対策の一環として、日本山岳スポーツクライミング協会が各都道府県の山岳コーチを講師として、一定の山行経験のある登山者に登山技術を習得させて「夏山リーダー」と称する自立した登山者を育成しようという目的のもと、東北６県でははじめて岩手県が開催したものである。

７名から受講希望があったが、各個人の事情による辞退もあり、都南山岳会の及川、滝沢市山岳協会の鈴木、千葉、日本山岳会岩手支部の熊谷の４名が受講の対象となった。

講師陣は県山協の指導部スタッフ陣のほか、今年６月に開催された夏山リーダー講師養成講習を受講した北上山岳会の佐藤（英）、八幡平市山岳協会の工藤、日本山岳会岩手支部の高橋（勇）の計 11 名で臨んだ。

夏山登山のハイシーズンの休日に受講者を拘束せねばならないため、実のある講習内容となるよう指導陣も奮起した。

机上講習として、登山計画、読図とナビゲーション、幕営、歩行技術や食料計画、気象、ファーストエイドやセルフレスキュー、登山文化や歴史に至る全ての基礎知識を講義し、実技としての上記の内容を経験豊富な講師陣がほぼマンツーマンで指導に当たった。特に読図とナビゲーションは、遭難原因の主な要因の第一位である道迷いを防ぐ対策となることから、山中での実技指導では入念に行われた。

石ケ森は名の知れぬ低山であるが、地形図にない登山道が多く、岩場や急傾斜、植生が豊富である一方、市街地からのアクセスが容易であるため、実技指導に必要十分な要素をもつ山で、受講者は積極的に質問をして実技指導を受け、講師は理論と経験を織り交ぜて知見を伝達することで講習は盛り上がった。

夏山リーダー講習修了者は今後更に一定山行を経験し、検定講習で合格したのち「夏山リーダー」となる。第一回目の開催に当たり、検討事項を今後に生かして、更に充実した講習になればと願う。　（報告　韮澤）

初冬期講習会兼指導員研修会

1　期　日：令和４年12月３日(土)三ツ石山
2　参加者：38名
・コーチ10名（土井、中島、寺内、村上、渡邊、韮澤、鎌田、佐藤英、高橋勇、樋口）
・検定１名（菊池）
・会員25名・一般１名
3　行 程
8:10 開講式 → 8:30 松川温泉駐車場出発→11:30 三ツ石小屋着 → 13:30 下山開始 → 15:00 松川温泉駐車場でアバランチレスキュー練習 → 13:45 閉講式

12月３日（土）に、令和４年度初冬期講習会を三ツ石山において開催した。参加者が総勢 38 名と、これまでにない人数となった。岩手県において、連日コロナ感染者が千名を超える状況で参加者が多いこともあり宿泊は難しいと判断し、日帰りで実施することにした。

8:10に駐車場にて開講式を行い、指導内容のチェック、装備チェックを行い出発した。今回は人数が多かったので６班編成とし、コーチが各班につき技術指導を行った。

今回は日帰りということもあり、指導内容を①ナビゲーション、②アバランチレスキュー、③ビバークの仕方の３点に絞り、あとは各班において、指導者が状況に応じて指導することとした。

① ナビゲーションは行動中に各地点の同定方法、コンパスの置き方について複数回指導した。
② アバランチレスキューについては、三ツ石小屋の前で韮沢が概要を皆に説明し、検定の菊池が実演した。また、下山後、駐車場において各班で実習を行った。

③ビバークについては、アバランチレスキュー同様に、三ツ石小屋の前で鎌田が説明、実演した後、２～３名で実際にツエルトを張り、張ったツエルトの中で昼食を取った。

午後になり降雪が激しくなり気温が低下した。また、視界も良くなかったので、山頂へ行くことはやめ下山した。

閉校式で、指導部の中島、寺内から講評行い解散した。この後の冬山シーズン、参加者の皆さんが事故無く冬山を楽しんでいただければと願う。

指導員会　冬山合宿（八ヶ岳）

1　行程
1月６日（金）21：00　北上・金ヶ崎インター出発
7日（土）4：30　諏訪南インター　6：30赤岳山荘　8：35赤岳鉱泉ＢＣ　11：40赤岳鉱泉出発　ジョウゴ沢アイスクライミング 18:00 赤岳鉱泉ＢＣ
8日（日）6：45赤岳鉱泉ＢＣ出発　山行
10：45赤岳山頂　14：05赤岳鉱泉ＢＣ
9日（月）6：30赤岳鉱泉出発 8：30赤岳山荘駐車場出発　19：00北上金ヶ崎インター着
2　参加者
CL鎌田智子、及川真紀、山口晋吾、赤澤信一４名
3　報告
１日目　（１月７日（土））

ジョウゴ沢アイスクライミングについて

報告　赤澤信一

初アイスクライミング参加で、皆さんどんな登り方をするのだろうと興味と楽しみでいっぱいでした。赤岳鉱泉の近くジョウゴ沢で講習です。及川さんと山口さんからアックスの振り方、特に手首のスナップを効かせてピックを氷に打ち込む事やアイゼンは氷に蹴り込む角度が重要で前爪と次の２本の爪で支える様に立ち込む事など色々教わりました。Ｆ1 の所で実際にやってみると思うようにアックスやアイゼンを打ち込めず悪戦苦闘でアイゼンも蹴り込んで立ってみるのですが、ずり落ちてしまうのです角度が違うのか難しいなあ・・・皆さんからアドバイスをもらい何とかアックスとアイゼンが効くようになってきて少しは氷瀑登れるのかなと少し自信が湧いてきた。ロープにマイクロトラクションを装着して登りＦ2 から何となく体が動くようになってきてバシバシ行ける様になってきました。高めの氷瀑も登れるようになってきてアイスクライミング凄く面白い！自分で思ったところに進んで行ける！楽しくなってきました。その間に後続の人達がだんだん増えてきて次のアイスに先回り順番待ちなどもあり動いてないと体が冷えてくる。　次のアイスに段々と標高も上がってきて周りの山々が一

段と美しくなり更にゴルジェ帯に入ると景色が一変、遠くの雪山と溪谷の景色が一体となってずっと眺めていたい感じになった。ブルーのナメ滝が我々を出迎えて更に「乙女の滝」など美しい氷瀑に感動です。ラストの大滝まで来て皆の写真を撮り鎌田さんが登り終えた所で本日のクライミングは終了です。　16：00 過ぎたので赤岳鉱泉ＢＣに戻ることになりました。次回冬山合宿に参加出来たら大滝もチャレンジしたいなと思いました。

帰り道ナイヤガラの美しいブルーを見て下る。登って来た所を懸垂下降の連続で降りるとこれもまた楽しかった。登ってきた氷瀑に夕日が美しい。

次第に周りは暗くなりヘッドライト点灯で赤岳鉱泉へ向かう。

これがアイスクライミングか参加して本当によかったなと思いました。

初参加ということで色々とご指導いただきアイスの魅力に今頃になって気付いた遅咲きの爺様ですが更に、技術を磨いてチャレンジしてアイスの魅力を会員の皆さんに伝えて行こう思いました。

２日目　（1 月 8 日（日））赤岳往復ルートについて

報告　赤澤信一

八ヶ岳講習会の２日目は赤岳まで一般ルートでの登山です。

私が、バリエーションルートはやったことがなく一般ルートでの参加をお願いしたところ快く引き受けてい頂いてこのコースになりました。予定は、赤岳から横岳、硫黄岳の縦走もあったのですが、昨日のアイスの蹴りと疲労で足に違和感が！縦走に不安があったので赤岳の往復となりました。北上山岳会のメンバーには物足りなさを感じたと思います。赤岳鉱泉ＢＣを 6：45 出発。早朝の冷え込み - 20℃で上はもっと冷えるのかな・・・

青空と極寒で八ヶ岳ブルー・ブルー・ブルーです！でも、周りの山々もクッキリと見え最高の登山が出来そうです。

8：00 行者小屋到着、多くのテントと登山者がおりました。文三郎尾根を登ってくと呼吸がすこし苦しくなってきて足取りも遅くなってきました。少し歩いては

呼吸を整え少し休んでの繰り返し、なかなか前に進めません。
頂上から降りて来た人や登る人でちょっと行列ができる時もありました。岩手山の山開きや富士山のご来光前の行列程ではないけど、冬山での行列はさすが八ヶ岳（赤岳）ですね！！阿弥陀岳が綺麗に見えてきた。
段々と斜面が急になってきてアイゼン歩行で最初はダックウォークで歩きましたが鎌田さんからのアドバイスでダイアゴナルの歩き方を試すとすごく楽になりました。
鎌田さんどんどん登ります俊足が止まりません・・・待ってくれ～！！なかなか追いつけません！！
キレット分岐から赤岳頂上まで岩場となり、ここで山口さんからアドバイスで岩にアイゼンを効かせて登るテクニックとアックス無しの手足で登る三点支持で一歩一歩を確認しながら登って行きました。
10：45 赤岳山頂到着で大パノラマにふたたび感動です！遠くに富士山も見えた！ついに八ヶ岳ブルー満喫！万歳！
皆で記念写真を撮って山頂の脇でお昼休憩です。なんと山頂で強風も無く穏やか太陽の光を浴びてポカポカでした。腹ごしらえして赤岳頂上山荘の脇を通り下山。横岳に登って戻るかとの行程も出ましたが、赤岳鉱泉までの道のりを考えると足に疲労感があり帰り道に足を踏み外す可能もあるかなと判断し早めに地蔵尾根を下ることに決定しました。地蔵ノ頭で赤岳に別れを告げて下山します。雪稜の急斜面の地蔵尾根を下るアックスを使って滑落防止！！帰り道に大同心・小同心を見るとアタック中の人が何人か見える！凄いな！バリエーションルートもいつか登ることが出来るといいなと思いながら慎重に下って行く。

14：05 赤岳鉱泉ＢＣ到着。厳冬期冬山合宿で二日間の講習を無事終了しました。赤岳鉱泉ＢＣテントで皆さんと反省会をして八ヶ岳(赤岳)を振り返りました。横岳や硫黄岳からの赤岳も見たかったけど、残念ながら次回に持ち越しでまたまた課題ができました。
　これからも多くの山を登って体力・技術を身に着け、今回やり残した課題に挑戦できるように頑張りたいと思います。山を歩けるうちは様々な講習会に参加して楽しく安全な登山を目指していきたいと思います。
一緒に歩いた皆様、楽しかったそして有意義な講習会ありがとうございました。

国体・世界ユース選手権大会募金へのご協力ありがとうございます

（令和５年１月 31 日現在）順不同

３年ぶり皆様からお寄せ頂いています国体募金。今年は世界ユース選手権大会への募金も合わせ多くの皆様の支援有難うございました。
皆様からのご芳志は金銭面的なことと併せ、岩手県山岳・スポーツクライミング協会の看板を背負い県代表として戦う選手諸君にとって大きな支えと励ましになっています。
今年お寄せいただきました募金総額は、13 団体、個人 23 名で 232,000 円となりました。ありがとうございます。

13 団体

矢巾町山岳協会、矢巾山好会、盛岡山想会、JR 東日本滝沢市山岳協会、盛岡 RCC、八幡平市山岳協会、巌鷲山岳会、アトラス山岳会、ハイエストカンパニー、花巻市山岳協会、釜石岳友会、都南山岳会、

個人 23 名

鬼川博昭（高体連）、遠藤敏英（矢巾山好）、中島隆之（友愛病院）、外川正（高山植物）、澤田精一（早池峰）、熊谷浩志（盛岡山岳会）、髙橋時夫（八幡平市山協）、鈴木主計（早池峰）、中道政春（翌檜）、工藤裕志（八幡平市山協）、清藤祐貴雄（高体連）、武田勝栄（巌鷲）、中谷

充（盛岡山岳会）、出堀宏明（盛岡山想会）、遠藤政一（和賀）、角掛喜美夫（滝沢市山協）、畠山征敏（悠々）、及川憲一（和賀）、佐藤安美（和賀）、杉山健太郎（悠々）、佐藤誠（都南）、小野寺修（悠々）、吉田春彦（都南）の各氏。

受賞おめでとうございます

今年も次の方々が、県体協栄光賞、功労賞、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者表彰、岩手県文化スポーツ表彰を受けております。

（公財）岩手県体育協会栄光賞

（令和4年度前期）

伊藤ふたば選手

IFSC-AC クライミングアジア選手権 ソウル 2022 女子ボルダリング 優勝

上柿銀大選手

IFSC 世界ユース選手権 ダラス 2022 ユース B 男子 スピード ユースB男子 スピード 第2位

（公財）岩手県体育協会功労賞

畠山晃スポーツクライミング部長

1985 年の鳥取国体～2005 年の岡山国体まで 21 回山岳競技選手として活躍。その後、2005 年岡山国体～2022 年栃木国体まで監督として国体に携わる。この間 2016 年岩手国体開催時に「日本スポーツ協会国民体育大会功労者表彰」2021 年に「岩手県文化・スポーツ賞」を受賞

（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰受賞

清藤祐貴雄指導員（コーチ）

第 67・68・69 回国民体育大会（岐阜・東京・長崎）・東北総体そして全国高等学校総合体育大会登山大会・全国高校選抜クライミング大会等の山岳・登山競技の監督・指導者として多数の上位入賞を果たし、また岩手県山岳・スポーツクライミング協会指導委員会の運営に努め普及と発展に携わる。

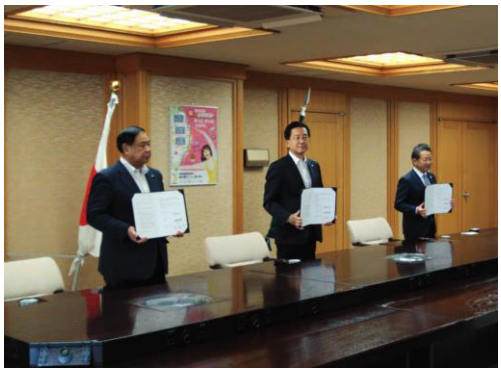
岩手県文化スポーツ表彰

小山勝稔副会長

多年にわたり協会の要職を歴任し発展に尽力するとともに、本県山岳及びスポーツクライミング競技の普及振興に大きく貢献した。

岩手県、盛岡市及びＪＭＳＣＡ連携協定を締結

令和４年８月 31 日、岩手県庁において、県内におけるスポーツクライミングの普及・振興を図るため、岩手県、盛岡市及び公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会の三者間での連携協定が締結されました。



連携項目

岩手県営運動公園スポーツクライミング競技場の利活用に関すること

具体的内容

・継続した国内大会及び国際大会の誘致・開催
・日本代表選手合宿の実施
・施設の充実に向けたアドバイス

連携項目

スポーツクライミング競技における選手の発掘、育成、強化に関すること

具体的内容

・代表合宿実施時に県内選手による見学会の実施
・トップコーチによる県内選手への強化指導
・普及育成に向けたイベントの実施

連携項目

スポーツクライミング競技を通じた、生涯スポーツの振興に関すること

具体的内容

・地元スタッフへの大会運営に係るノウハウ指導
・トップ選手と県民との交流

JMSCA クライミング体験キャンプ in いわて盛岡 supported by 日新火災　開催

連結協定に基づき、岩手県営運動公園スポーツクライミング場で、11 月 19 日（土）、午前と午後に分けて、県内在住のスポーツクライミング未経験小学生（3 年生以上～）30 名ずつ、ボルダリング体験講習会を実施しました。終了後、ゲストの原田海選手、菊地咲希選手と交流会も行われました。

日山協スポーツクライミング部ブロック別研修会（東北ブロック）並びに東北ブロック会議開催される

2020 年度ＪＭＳＣＡスポーツクライミング部ブロック別研修会が令和 4 年 11 月 26 日（土）　午後、27 日（日）午前・午後、滝沢市北部コミュニティーセンターで行われました。26 日は午後 1 時からの開会式の後、全体でＪＭＳＣＡアンチドーピング委員会副委員長副委員長の西原斗司男氏からアンチ・ドーピング研修、ガバナンス委員会委員長の恒石直和弁護士からコンプライアンス研修を受けました。その後、総合研修とＣ級審判員認定研修に分かれ、総合研修では技術委員会専門委員佐藤豊氏から審判研修、西原斗司男国体委員長から国体運営・競技運営研修を受け、Ｃ 級審判員認定研修は技術委員会専門委員杉山将崇氏より翌日の 27 日（日）まで研修を受けました。

東北ブロック会議は場所を「ユートランド姫神」の研修室に移し、西原斗司男国体委員長も出席し 27 日（日）午前 9 時から行われました。内容は昨年実施された青森県での東北総体の報告と今年実施される岩手県での東北総体の実施要項の説明、そして、山形県山岳連盟におけるスポーツクライミング競技の現状報告がありました。そして東北ブロック六県協・東北総体・ブロック会議の幹事県を確認し、各県の現状報告を行い終了しました。

大会報告

全国高等学校登山大会（インターハイ）

期日　令和 4 年 8 月 5 日～9 日
場所　香川県まんのう町
　　笠形山　竜王山　大川山
結果
　　男子　盛岡第一高校　9 位　97.9
　　女子　盛岡第一高校　4 位　98.9

国民体育大会

期日　令和 4 年 10 月 1 日～4 日
場所　栃木県壬生町
　　壬生町総合運動場特設会場
結果
　成年男子　リード　23 位　ボルダリング 37 位
　成年女子　リード　15 位　ボルダリング 12 位
　少年男子　リード　13 位　ボルダリング 11 位
　少年女子　リード　10 位　ボルダリング 14 位

岩手県高等学校新人登山大会

期日　令和 4 年 10 月 7 日～9 日
場所　花巻市大迫町　鶏頭山
結果
学校対抗
　男子 1 位　盛岡第一　98.6
　　2 位　水沢　94.3　3 位　岩手　93.7
　女子　1 位　盛岡第一　99.4
チーム対抗
　男子　1 位　岩手　92.8　2 位　盛岡工 C1　80.8　3 位 盛岡工 C2　78.4
　女子　1 位　盛岡第一　99.0

スポーツクライミング 2022
ボルダリング＆スピード大会

期日　令和４年 10 月 29・30 日（土・日）
場所　岩手県営運動公園
　　第１ボルダリング場・スピード競技場
結果
ボルダリング
ジュニア男子
　１位　工藤　慧人　　仁王小学校 6
　２位　太田　遥士　　松園小学校 6
　３位　土谷　唯翔　　水沢南小学校 6
ジュニア女子
　１位　大久保　空音　　向中野小学校 5
　２位　佐々木　百花　　永井小学校 6
　３位　佐々木　和花　　永井小学校 4
ビギナー高校生以下男子
　１位　山口　由翔　　城北小学校 6
　２位　高橋　朋也　　岩手高校 1
　３位　武藏　大鷹　　盛岡南高校 2
ビギナー高校生以下女子
　１位　川村　鞠采　　盛岡第一高校 1
ミドル高校生以下男子
　１位　佐々木　健惺　　岩手高校 2
　２位　上田　健太　　岩手高校 2
　３位　米倉　源　　岩手高校 1
ミドル高校生以下女子
　１位　梅村　奏美　　見前南中学校 2
　２位　畠山　莉緒　　盛小学校 5
　３位　鈴木　真美　　飯豊小学校 6
ミドル一般男子
　１位　菅原　俊
　２位　加藤　祐介
　３位　齊藤　璃也
ミドル一般女子
　１位　近藤　颯
　２位　廣内　初美
マスター高校生以下男子
　１位　古屋　生吹　　宮古高校 1
　２位　太田　悠吾　　遠野西中学校 1
　３位　小原　舞人　　水沢南中学校 2
マスター高校生以下女子
　１位　中村　暖　　盛岡南高校 1
　２位　三浦　舞　　厳美中学校 2
マスター一般男子
　１位　浅沼　健太
　２位　本明　智尚
　３位　小原　崇
オープン高校生以下男子
　１位　本明　佳　　水沢中学校 3
　２位　平瀬　太誠　　磐井中学校 3
　３位　大賀　羽玖　　盛岡南高校 3
スピード
高校生以下男子
　１位　佐々木　健惺　　盛岡市岩手高校２
　２位　斉藤　佑俊　　盛岡市立北稜中学校３
　３位　大石　覇　千葉県一宮町立一宮中学校３
高校生以下女子
　１位　西村　優杏　千葉県印西市立木刈中学校１
　２位　南　有紗　　福岡県福岡市立友泉中学校３
　３位　岡部　朱里　　松戸市立新松戸南中学校１
一般男子
　１位　正富　靖章

第 12 回岩手県高校生スポーツクライミング大会兼第 13 回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会岩手県予選会

期日　令和４年 10 月 30 日
場所　岩手県営運動公園　リード場
結果
男子リード
　１位　石川 爽右介　盛岡南
　２位　似内　怜哉　盛岡南
　３位　佐々木 健惺　岩手

女子リード
　１位　中村　暖　　盛岡南
　２位　川村　鞠采　盛岡第一
　３位　及川　陽　　水沢
男子ビギナー
　１位　高橋　朋也　岩手
　２位　篠村　紅羽　盛岡南
　３位　内澤 昊太郎　盛岡第一

第 13 回全国高等学校選抜
スポーツクライミング選手権大

期日　令和４年 12 月 24・25 日
場所　埼玉県加須市　加須市民体育館

結果
男子リード
大賀 羽玖　22 位
石川 爽右介　52 位
似内 怜哉　70 位
女子リード
中村 暖　28 位
川村 鞠采　79 位
須藤 はる美　86 位

理事会報告

第３回定時理事会報告

日時　令和４年８月３日（水）　19 時～21 時 00 分
場所　盛岡市　県体育協会会議室
出席者　吉田会長、小山、武田の各副会長、畠山、小野寺、山口、中島、遠藤、の各理事、　　遠藤、佐々木監事　13 名中　10 名出席
欠席者　　三田、土井、佐藤（幸）理事
1　協議事項
(1) 第２回定時理事会議事録の承認について
小野寺総務部長より説明があり全会一致で承認された。
(2) 業務報告
名前を定款に合わせ、「職務報告」にするように指摘有。他、承認された。
(3) スタッフ募集結果　別紙の通り、承認された。
(4) 初冬期講習研修会及び冬山講習会について
中島副部長より説明があり、一部、後援・共催について指摘有修正後、承認される。
(5) スポーツクライミング 2022 ボルダリング＆スピード大会開催要項
遠藤部長より説明があり、３０日（土）は午後からスピード大会なので、午前に「高校生のクライミング大会」を行ったらどうかと提案有。承認される。
なお、高体連登山専門部委員長畠澤先生と連絡をとること。
(6) 日新火災 presents JMSCA クライミング体験キャンプ IN いわて・盛岡（仮）
吉田会長、小野寺総務部長より説明がある。
８月３０日、岩手県・盛岡市・JMSCA との三者でスポーツクライミングに関する協定を結んだこととの関連行事である。
なお、日程について、１１月６日が高校生クライミング大会の移動で空いたので、そこに移動したらという意見もあり。日新火災と調整し決定する事とする。⇒変更なし１１月１９日
(7) ワールドカップについて
協会からの係役員について、調整する。なお、加盟団体には要請しないとのこと。
(8) 県山協バナー案
吉田会長より６個の案について説明があり、④の案とする。
(9) 国体・世界ユース募金
別紙の通り、提案し、承認される。
2　報告事項
(1)　事務局
東北ブロック会議について
小野寺総務部長より説明あり。会場について、滝沢市北部コミュニティーセンターとし、宿泊場所はユートランド姫神とする。
八十周年記念事業について　記念誌　式典
式典における表彰者について、加盟団体に要請する。
(2)　指導部
(3)　登山普及部
①岩手山ボッカ大将 2022 の結果について
期日　　６月１９日（日）
結果は別添のとおり、山口部長より説明がある。
②岩手山山開き
期日　　７月１日（金）
３市町による山頂セレモニー,八合目臨時診療所開設　山口部長より説明がある。
③箱ヶ森登山道整備第１回作業について
期日　　７月５日（火）
参加者　４名（都南山岳会　厳鷲山岳会　滝沢市山協）　　山口部長より説明がある。
(4)　競技運営部
・第７４回県民体及び第 15 回国体選手選考会
遠藤部長より説明がある。
(5)　スポーツクライミング部
・東北総合体育大会
・３年～４年クライミング体験教室について
・親子ボルダリング体験教室について
別紙の通り、畠山部長より説明がある。

⑹　高体連

東北高等学校登山大会の結果

男子　優勝　岩手高校　99.1

2位 盛岡一高 98.2　3位 盛岡南高 94.3

女子　優勝　盛岡第一

5位 盛岡南　6位 盛岡第四

臨時理事会報告

日時　令和4年10月17日（月）　19時～21時

場所　盛岡市　県体育協会会議室

出席者　吉田会長、三田　小山、武田の各副会長、畠山、小野寺、山口、土井、遠藤、佐藤（幸）の各理事、遠藤、佐々木監事　13名中　12名出席

欠席者　　中島理事

1　協議事項

⑴ 第3回定時理事会議事録の承認について

小野寺総務部長より説明があり、全会一致で承認する。

⑵ 八十周年記念式典等について

表彰者について、小野寺総務部長より説明が提案があり、別紙のとおり全会一致で承認される。

次第、係分担等、提案あるが一部承認され、詳細は再度検討することになる。

⑶ 初冬期講習研修会・冬山講習会

第3回理事会で承認されている。

⑷ 1年～2年ボルダリング体験教室について

畠山スポーツクライミング部長より説明あり、全会一致で承認される。

⑸ 沿岸地区ボルダリング体験会（久慈 12/3.4）について

畠山スポーツクライミング部長より、中止の方向で検討している旨の説明があり、全会一致で承認される。

⑹ 登山届コンパスについて

土井指導部長より説明がある。

今後、岩手県警察に働きかけていくことで承認される。

2　報告事項

⑴　事務局

東北ブロック会議について　現在の状況について説明があった。

ワールドカップについて　会長より現在の状況等に報告があった。

⑵　指導部

夏山リーダー講師養成講習会、沢登り講習会、岩登り講習会について土井指導部長より報告があった。

⑶　登山普及部

山口部長より、岩手山九合目不動平避難小屋（10/8）参加者6名、八合目避難小屋（10/15-16）参加者18名の冬期小屋への切替作業について、報告があった。

⑷　競技運営部

遠藤部長より 10/29.30 実施の県ボルダリング＆スピード大会について現在の参加者について説明があった。（53名、22名）

⑸　スポーツクライミング部

畠山スポーツクライミング部長より下記の通り説明報告があった。

・国民体育大会

成年男子ボルダリング37位	リード	23位
成年女子ボルダリング12位	リード	15位
少年男子ボルダリング11位	リード	13位
少年女子ボルダリング14位	リード	11位

皆さんから多大なご支援を頂きながら、残念ながら入賞チームを出すことができませんでし　た。今回の成績を土台に、次の活躍を期したいと思います。今後ともご支援よろしくお願いします。

リードも順位算定の方式が（個人順位の掛け算）に変わり一人のトップ選手が一桁取ると相方ダメでも決勝に行けます。そこそこ2人の岩手方式は通用しなくなりました。一桁クライマーです。

⑹　高体連

インターハイ結果

男子　盛岡第一高校　9位　97.9

女子　盛岡第一高校　4位　98.9

新人登山大会結果

学校対抗

男子1位　盛岡第一　98.6　2位　水沢　94.3

3位　岩手　93.7

女子　1位　盛岡第一　99.4

チーム対抗

男子　1位　岩手　92.8　2位　盛岡工 C1

80.8　3位 盛岡工C2　78.4

女子　1位　盛岡第一　99.0

3　経過報告と予定　　8月3日理事会以降

・8.3 第3回理事会　　県体協会議室

・8.5～9　　全国高等学校登山大会（インターハイ）　　香川県
・8.7　　沢登り講習会
・8.11　　山の日　八合目診療所開設
・8.12　　ワールドカップ下見
・8.28　　岩登り講習会
・9.3-4　　夏山リーダー養成講習会（前期）
・9.10-11　　夏山リーダー養成講習会（後期）
・9.24-25　　岩手山八合目診療所開設
・10.2-4　国民体育大会　　栃木県壬生町
・10.7-9　岩手県高等学校新人登山大会(鶏頭山)
・10.15-16　岩手山八合目避難冬期小屋切替
・10.17　　臨時理事会
・10.20-22　IFSC ｸﾗｲﾐﾝｸﾞ ワールドカップＢ＆Ｌｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞいわて盛岡大会 2022
・10.29-30　県ボルダリング＆スピード大会
・10.30　　高校生クライミング選手権大会
・11.2　　第４回理事会
・11.3　　スポーツクライミング認定会
・11.12　　80 周年記念式典　サンセール盛岡
・11.13　　スーパーキッズ体験会
・11.19　　日新火災クライミングイベント
・11.20　　スピードトライアウト
・11.26-27　　東北ブロック会議（岩手県）
　　SC 審判員ルートセッター研修会

第４回定時理事会報告

日時　令和４年 11 月２日（水）
場所　盛岡市　県体育協会会議室
出席者　吉田会長、三田　小山、武田の各副会長、小野寺、山口、土井、中島、遠藤、の各理事、遠藤、佐々木監事　　13 名中　11 名出席
欠席者　畠山、佐藤　理事

1　協議事項

(1) 臨時理事会議事録の承認について
　小野寺総務部長より説明があり、全会一致で承認された。

(2) 職務報告
　各業務執行理事より報告あり承認された。

(3) 八十周年記念式典等について
　詳細について、小野寺総務部長より提案があり、一部修正し、またそれぞれの役割を確認し承認された。

(4) 東北ブロック会議について
　ＪＭＳＣＡスポーツクライミング部ブロック別研修会（東北ブロック）開催実施要項につて小野寺総務部長より説明があり承認され、また岩手県参加者についても確認された。

(5) 登山届コンパスについて
　土井指導部長より、登山届「コンパス」について説明があり、さらに県警に要請することで承認された。

(6) 審判員認定講習について
　土井指導部長より、11 月のブロック別研修会に参加できなかった人もおり、審判員・ルートセッター資格更新研修会を１月２８日に県体協会議室で実施することで提案があり、全会一致で承認された。

2　報告事項

(1)ワールドカップについて　　資料の通り
(2)岩手県文化スポーツ表彰受賞　小山勝稔副会長
(3)日新火災イベント（第３回理事会で協議済み⇒11/19 実施）
(4)国体・世界ユース選手権大会募金　名簿別紙　232,000 円
　山協ニュースで氏名等報告する。
(5)指導員（コーチ）インドア研修会について
　資料の通り
(6)岩手山八合目避難小屋管理
　資料の通り
(7)箱ヶ森登山道整備業務委託
　資料の通り
(8)県ボルダリング＆スピード大会
　資料の通り、10 月 29・30 日実施
(9)沿岸ボルダリング体験会（久慈 12-3.4）中止
　新型コロナウイルス感染症の関係で中止。
(10)第 12 回岩手県高校生スポーツクライミング大会兼第 13 回全国高等学校選抜
　スポーツクライミング選手権大会岩手県予選会の結果(10/30 実施)
　男子リード
　１位　石川 爽右介　盛岡南　２位　似内　怜哉　盛岡南　３位佐々木 健惺　岩手
　女子リード
　１位　中村　暖　盛岡南　２位　川村　鞠采　盛岡第一　３位　及川　陽　水沢
　男子ビギナー
　１位　高橋　朋也　岩手　２位　篠村　紅羽　盛岡南　３位　内澤 昊太郎　盛岡第一

3　経過報告と予定　　10 月 17 日理事会以降

・10.17　　臨時理事会
・10.20-22　IFSC ｸﾗｲﾐﾝｸﾞ ワールドカップＢ＆Ｌｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ いわて盛岡大会 2022
・10.29-30　県ボルダリング＆スピード大会
・10.30　　高校生クライミング選手権大会
・10.29-31　全日本登山大会高知大会（伊予富士）　中止
・11.2　　第４回理事会
・11.3　　スポーツクライミング認定会
・11.5.6.9　ボルダリング体験教室
・11.12　80 周年記念式典　　サンセール盛岡
・11.13　　スーパーキッズ体験会
・11.18　　丸ＪＭＳＣＡ会長来盛
・11.19　　日新火災クライミングイベント
・11.20　　スピードトライアウト
・11.26-27　東北ブロック会議（岩手県）
　　SC 審判員ルートセッター研修会
・12.3-4　　初冬期講習研修会　　三ツ石山
・12.3-4　　沿岸ボルダリング体験会（久慈）　中止
・12.3,4,17,21　１・２年教室
・12.17　　盛岡山想会 90 周年記念式典
・12.24-25　第 13 回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会
・1.21　　指導員インドア研修会　　松尾コミュニティセンター
・1.28　審判員・ルートセッター資格更新研修会　　県体協会議室
・2.4-5　　冬山講習研修会　　焼石岳

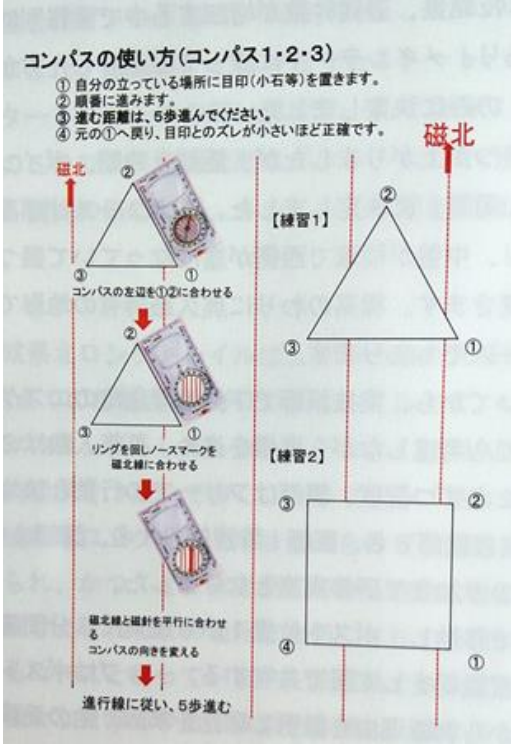
2 月　　部長会
名誉会員顧問懇談会

・3.4　　加盟団体会長事務局長会議
・3.11～12　沿岸ボルダリング体験会（宮古）　中止
・3.15　　第５回理事会

創立 80 周年記念誌

創立 80 周年記念事業の一つとして記念誌を作成いたしました。各加盟団体にお買い上げいただいておりますが、個人でもご購入希望者は事務局（０７０－４１２３－８２６５）または副会長小山までご連絡をお願いします。

コンパスの使い方練習



安全登山指導者研修会「東部地区」報告書より
作成者、国立登山研修所研修講師
可合芳尚（豊川山岳会）

「岩手山の花と木」発売中

「岩手山の花と木」（定価 2000 円）が発売されております。書店等にない場合は協会事務局までお連絡ください。加盟団体等には定価より安価で販売いたします。

応援しています

岩手の山岳・スポーツクライミング

いわて電力
IWATE ELECTRIC POWER